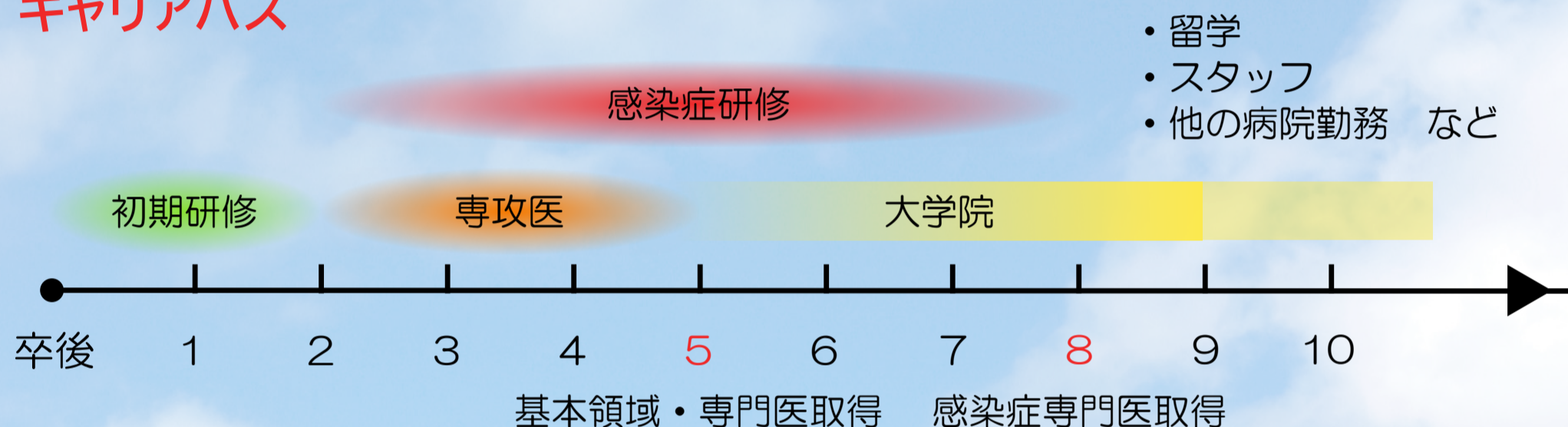


京都大学医学部附属病院 検査部・感染制御部

専攻医・概要

初期研修の履修過程において、「感染症」に興味をお持ちの先生方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。しかしながら、新専門医制度において「感染症」はサブスペシャリティ領域であり、初期研修修了後のキャリアの一步をどのように踏み出せばよいのか、わかりにくいことも事実です。「京大病院 検査部・感染制御部」は、感染症診療・感染対策を主軸に活動すると同時に、その背景に検査部としての役割を担っております。つまり、基本19領域の1つである「臨床検査」を専攻するなかで、その初期から感染症の経験を積んでいただくというプランを提示することができる国内随一の研修機関です。もちろん、内科や小児科等の基本領域を専攻されたのち、感染症の道に進まれる方も大歓迎です。

キャリアパス



研修プログラム

臨床検査専門医：「京都臨床検査専門研修プログラム」にのっとり研修を行っていただきます（詳細は、<https://www.jslm.org/recognition/program/26kyoto2017.pdf>）。

感染症専門医：京大病院において感染症研修を行うことで、**感染症診療**（血培陽性例対応、コンサルト症例対応など）・**感染対策**（院内感染対策支援、職員感染対策など）に習熟することが可能です。

研究

薬剤耐性菌耐性機序の解明：ESBL産生菌、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌、メタロβラクタマーゼ産生グラム陰性桿菌、肺炎球菌などの耐性の仕組みを全ゲノム解析を用いて解析。

新型コロナウイルス感染症：PCR大量処理法の開発、大規模疫学調査など。

真菌感染症：PCPの診断方法開発、カンジダ属菌の同定、アスペルギルス属菌の薬剤感受性。

腸内細菌叢解析：固形臓器移植患者における腸内細菌叢の変化と予後について。

院内感染対策：院内環境整備方法の研究開発など。

スタッフ

スタッフ：教員 5名、医員 1名、大学院生 3名。

出身大学：京都大学、名古屋大学、京都府立医科大学、神戸大学、日本医科大学、大分大学、琉球大学など。

研修後、大学院卒業後の主な勤務先(当院以外)：三菱京都病院、洛和会音羽病院、大阪市立総合医療センター、大阪急性期・総合医療センターなど。